

目 次

1. 研究の主旨と経過	1
2. 楽しい授業をするためのコンピュータの利用 (佐々木忠之)	3
3. 精神遅滞教育におけるコンピュータ利用の教育 —— コンピュータ利用の教育の途を探る ——	(篠原 吉徳) 9
4. 肢体不自由教育におけるソフトウェア活用の課題	(渡邊 章) 15
5. K君をめぐるコンピュータによる5年間の教育の様子 —— 脳性まひ、呼吸障害等をもつ一児童の実践を通して ——	19
(1)K君のかかわり当初の様子について	(落合 俊郎) 21
(2)障害児のためのPrecomputer TrainingとCAIのあり方についての考察 —— 脳性まひの障害をもつ5歳男児Kの事例を通して ——	(武富 志郎) 22
(3)「朝の会」の指導における音楽自動演奏教材の利用(その1) —— 音楽シーケンサと入力エミュレータを利用したK君の指導事例から —— (永田和子・下山直人・松本廣)	35
(4)「朝の会」の指導における音楽自動演奏教材の利用(その2) —— 音楽シーケンサと入力エミュレータを組み合わせた教材について —— (松本廣・永田和子・下山直人)	40
(5)迷路ゲーム・ソフトを介してのK君とのかかわり	(新居 泰司) 44
(6)ハイパーカード用入力装置の開発とその利用 —— 上肢運動機能に障害をもつKの表出援助 ——	(塩谷 朗) 46
(7)K君についての五つの論文を読んで	(落合 俊郎) 53
6. 自閉症児へのコンピュータ導入と活用の経過	(寺山千代子) 55
7. 聾学校におけるコンピュータの活用	(小川 雅夫) 61
8. 2点入力装置による学習用ソフトウェアを利用した指導 ..	(金森 克浩) 65
9. 言語障害・上肢運動機能障害児の意欲的な活動を促す朝の会の指導 —— コンピュータを利用した音楽シーケンサの自動演奏機能の活用 —— (飛山秀信・新井綱人)	69
10. 脳性まひがある生徒のコミュニケーション方法の確立 —— コンピュータとトーキングエイド用大型キーボードを利用した指導 —— (篠田諭・角田淳)	73
11. 障害児学習用ソフトウェア情報のデータベース化	(中村均・松本廣・棟方哲弥・詫間晋平) 77
12. 補聴器データベース'93の開発	(中川 辰雄) 81
13. データの相互利用 —— ワープロを中心に ——	(斎藤 美麿) 85
14. コンピュータ利用者育成について	(中村 均) 89
ま と め	93